

## ICT活用をした災害時の情報収集を可能とするプラットフォームについて

### NTT 東日本と共同検討に関する協定を締結しました

区は、災害時のICTを活用した各種インフラ情報や被災状況等の一元的な情報収集・管理を可能とする連携プラットフォーム等に関する共同検討について、東日本電信電話株式会社（以下「NTT東日本」）と協定を締結しました。

区はこれまで、防災地図アプリ「すぎナビ」の開発や河川ライブカメラの導入など、災害対策にICTを活用する取り組みを進めてきました。近年の豪雨被害の甚大化や首都直下型地震への懸念の高まり等の状況下においては、さらなる取り組みの推進が求められています。

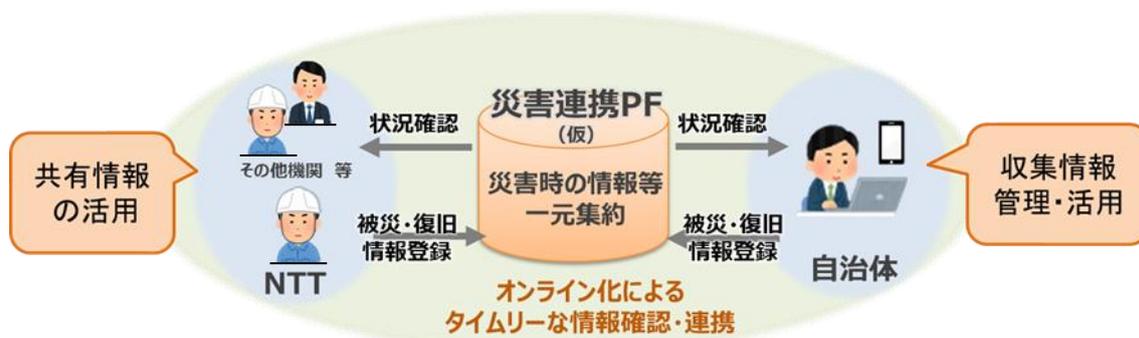
一方、NTT東日本では、災害発生時に各種インフラの被災状況や雨量・河川の状況等を、ICT等を活用して一元的に情報収集し、地図へ一括表示するなどの仕組み（プラットフォーム）を構築すべく、検討を進めていました。

区とNTT東日本との方向性が合致し、双方にメリットがあることから、この度、こうした仕組みづくりやそのためのIoT（カメラやセンサー等）による情報収集手法等について、共同で検討していくこととし、協定を締結しました。

こうした仕組みが構築されれば、将来的には杉並区においても有用な情報を即時に収集し、関係所管と連携を図りながら、区民の安全確保や早期復旧に向けた取り組みに活用することが可能となります。11月13日（土）開催の「杉並区総合震災訓練」では、NTT東日本の展示ブースで、この取り組みについてパネル等で紹介する予定です。

NTT東日本の担当者は、「杉並区との共同検討を通して、防災、災害対策において有用なプラットフォーム・ソリューションの検討を進め、各自治体等へ提供していくことで、より安心・安全な社会の実現に貢献していきたい」とコメントしました。

#### 【災害時の各種情報収集・管理のイメージ】



#### 【問い合わせ先】

危機管理室防災課：03-3312-2111 内線3601  
総務部広報課：03-3312-2111（代表）